

「Maple 2016.2」「MapleSim 2016.2」

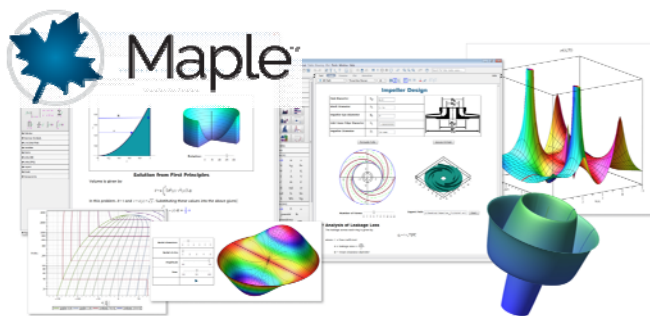
日本語版リリースのお知らせ

**モデル流通のための FMU インポート機能を追加
 リビジョン管理ツールとの連携機能で開発環境をより快適に**

サイバネットシステム株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員：田中 邦明、以下「サイバネット」）は、グループ会社であるMaplesoft（本社：カナダ オンタリオ州、以下「メイプルソフト」）が開発・販売・サポートするSTEM^{*1}コンピューティング・プラットフォーム「Maple[™]（メイプル）」の新バージョン「Maple 2016.2」およびシステムレベルモデリング&シミュレーション環境「MapleSim[™]（メイプルシム）」の新バージョン「MapleSim 2016.2」の日本語版の販売を2017年1月18日より開始することをお知らせします。

企業、教育分野で活用が進む Maple, MapleSim とは

Mapleは、全世界で利用されている数式処理技術をコアテクノロジーとしたSTEM^{*1}コンピューティング・プラットフォームです。また、MapleSimは、Mapleを計算エンジンとした数式処理とModelica[®]*2を統合したマルチドメイン^{*3}でのシステムモデリング・シミュレーション環境であり、自動車や産業機械、電力などの様々な産業分野で、大規模なシステムや制御対象のモデリングを基本とした設計開発ツールとして活用されています。



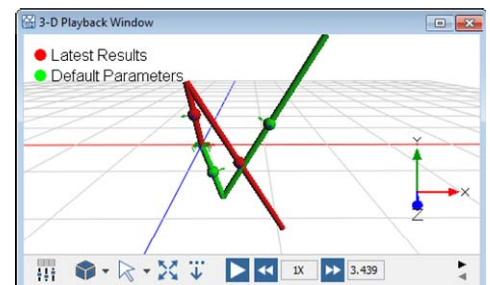
Maple2016.2 のイメージ



MapleSim2016.2 のイメージ

新バージョンの概要

MapleSim 2016.2では、特に自動車業界での活動が盛んであり、モデル流通に大きく貢献する、**FMU^{*4} Import** に対応しました。これにより、他のツールで作成されたモデルであってもシミュレーションが可能となりました。また、ユーザーズに対応し、シミュレーション実行中に結果を確認できる「**ライブシミュレーション**」の機能を追加しました。これにより、シミュレーション中でも素早く結果を確認できます。さらに、**機能やモデルのバージョンを管理するリビジョン管理ツールとの連携機能が加わり、モデルの変更点管理がより容易**になりました。複数の利用者での同一モデル作業時のプロジェクト管理が容易になるため、開発リスクが低減されます。



アニメーションの比較機能

また、本バージョンではMapleのさらなるパフォーマンス向上により、Mapleを計算エンジンとするMapleSimのパフォーマンスも向上しました。

お知らせ

MapleSim 2016.2 の主な新機能と特徴

モデル開発

- シミュレーション実行中に結果を確認できるライブシミュレーション機能により、シミュレーション中でも即、問題対応が可能に
- 解析結果アニメーションの比較機能追加により、対象モデルの挙動の違いを直観的に理解

ツールチェーン

- FMI 互換モデリングツール (LMS Imagine.Lab Amesim™、Dymola®、およびSimulationX®など) からエクスポートされたモデルをMapleSimに簡単にインポートしてほかのモデルやサブシステムと同様に使用可能※5
- モデルのバージョンを管理するPerforce™、Subversion®、Mercurial、またはGit™などのリビジョン管理ツールとの連携が可能

その他、様々な機能改善が行われています。

より詳細な新機能や改良点については、[当社製品ウェブサイト](http://www.cybernet.co.jp/Maple/)をご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/Maple/>

メイプルソフト バイスプレジデント 山口 哲 氏のコメント

生産性を高める『システム全体の問題発見』へ

重要部品のメンテナンス時期を効率良く予測したり、車両の燃料消費を予測するなど、インダストリアル IoT の進展と共に、“複合的なシステムの性能予測”が製品開発における重要課題となりつつあります。こうした性能予測を行うためには、製品を取り巻く「システム全体の問題発見」をいかに迅速に、高精度に行うかが重要です。

このような、**問題発見のための効率的シミュレーション**を実現するため、Maplesoftはこのたび、MapleSim 2016.2 をリリースしました。MapleSim 2016.2 では、たとえ他社ツールのサブシステムであっても、FMI 2.0 互換であれば MapleSim へそのまま取り込み、既存モデルとの連携シミュレーションを手軽に実現できるようになりました。これにより、**システム全体の性能予測**をより早く、簡単に行うことができます。

Maplesoft では、引き続き問題発見のための革新的なソリューションの実現を目指してまいります。

注釈

- ※1：STEM：Science, Technology, Engineering, and Mathematics (科学、技術、工学、数学) という総合的な分野の総称。Maplesoft 製品は、計算環境だけでなく、計算アプリ開発やモデリング・シミュレーション、オンライン学習によってトータルサポートします。
- ※2：Modelica：Modelica 協会 (<http://www.modelica.org/>) により策定・メンテナンスされているオープンなオブジェクト指向の物理モデリング言語。
- ※3：マルチドメイン：電気や熱、制御、機械など、通常個別に扱われる複数の分野を連携させてモデル化し、シミュレーションする考え方。現在の複雑なものづくり工程においては、全体的な(複数分野にまたがる)最適化を考えた解析環境が必須となる
- ※4：FMU：Functional Mockup Unit。モデル間のインターフェース FMI (Functional Mockup Interface) に基づいて作成された実行可能なファイル。
- ※5：FMI 2.0 Model Exchange と固定ステップ Co-Simulation をサポート

メイプルソフトについて

メイプルソフト (Maplesoft) は、対話的な数学計算ソフトウェアを開発・販売するリーディングカンパニーです。世界中の数学者・物理学者・エンジニア・設計者に愛用され、同社のフラッグシップ製品である STEM コンピューティング・プラットフォーム「Maple」をはじめとして、数理技術を基本とした様々な技術計算製品を提供しております。

メイプルソフトの計算ソフトウェアは、アライドシグナル、BMW、ボーイング、ダイムラー・クライスラー、ドリームワークス、フォード、GE、ヒューレット・パッカード、ルーセント・テクノロジー、モトローラ、レイセオン、ロバート・ボッシュ、タイコ エレクトロニクスそしてトヨタ自動車など一般企業をはじめ、MIT、スタンフォード大学、オックスフォード大学、NASA、カナダ・エネルギー省などの先端的研究機関において教育や研究目的で利用されております。

メイプルソフトに関する詳しい情報については、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.maplesoft.com>

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 <http://www.cybernet.jp/>

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

お知らせ

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特に CAE（※）関連の多岐にわたる先進的なソフトウェアソリューションサービスの提供を行っております。

電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、医療、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。構造解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、電子回路設計、汎用可視化処理、医用画像処理など多様かつ世界的レベルの CAE ソフトウェアを取扱い、様々な顧客ニーズに対応しております。

また、ビジネスプロセスの効率化を実現する各種ソフトウェアの提供や、個人情報や秘密情報などの漏洩・不正アクセス対策、データのアーカイブと保護、認証強化などでクライアント PC・サーバのセキュリティレベルを向上させる IT ソリューションの提供をしております。

サイバネットシステム株式会社に関する詳しい情報については、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

※CAE (Computer Aided Engineering) : 「ものづくり」における研究・開発時に、従来行われていた試作品によるテストや実験をコンピュータ上の試作品でシミュレーションし分析する技術。試作や実験の回数を劇的に減らすと共に、様々な問題をもれなく多方面に亘って予想・解決し、試作実験による廃材を激減させる環境に配慮した「ものづくり」の実現に貢献する。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

- 内容について
CAE 第 2 事業本部 システム CAE 事業部
プロダクトソリューション部 営業グループ／岩ヶ谷
TEL : 03-5297-3299 E-MAIL : infomaple@cybernet.co.jp
- 報道の方は
営業推進部／平澤
TEL : 03-5297-3094 E-MAIL : prdreq@cybernet.co.jp